DELCATEC

取扱説明書

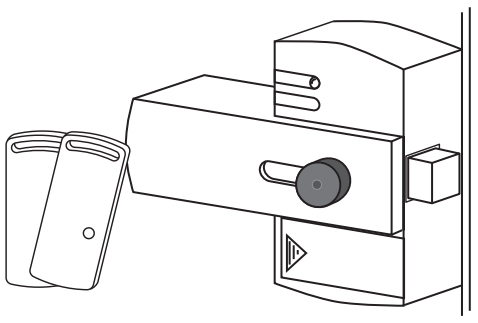
DXアンテナの製品を正しくご使用いただくために、取扱説明書をよくお読みください。

IC CARD
DOOR LOCK SYSTEM

KDW-1000

DELCAlock

取付方法



⚠注意

- ●ほぼ全ての外開きドアに取付け可能ですが、一部ドア枠の形状により取付けができない場合もあります。内開きドアには取り付けできません。
- ●両面テープは、接着してはがすのが大変困難となりますので、取り付けの際には当説明書の位置合わせを確認してから着手してください。(1, 2, 3, 4項参照)
- ●取り付けを実施する前に、本体とアンテナの設置方法を決定してください。(4項参照)
- ●両面テープの性能を発揮させるために、あらかじめ接着面をよく拭いてください。また、接着後しっかりと加圧(10kg程度)してください。
- ●電池を入れる前に、フラットケーブルでアンテナと本体が接続されていることを確認してください。接続されていないとブザーが鳴り続けます。
- ●電池をセットしたあとにアンテナのフラットケーブルを外すとブザーが鳴り続けます。
- ●本体ならびにアンテナ部を放水、水洗いすると故障の原因になりますので注意してください。
- ●本製品は、補助錠であり、万一発生した盗難事故等による損害については責任を負いかねますのでご了承ください。

KMJP-030128 NMO-180205

取付方法・操作方法（ＩＣカードキーの追加登録と登録抹消）については付属のビデオテープもあわせてご覧ください。

1 共通

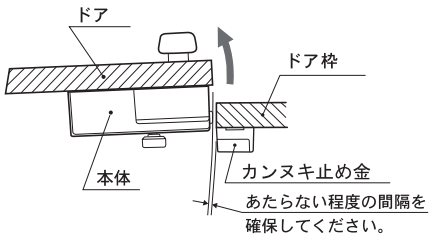
1. 取扱説明書 注意書 で **梱包品・各部名称を確認してから作業を行なってください。**
2. **本体とアンテナを接続する方法を選択します。(4. アンテナの取付 参照)**
3. **本体、カンヌキの受け口、アンテナの位置関係において次の問題が無いことを確認してください。**

●カンヌキがカンヌキ止め金にかかること、およびカンヌキとカンヌキ止め金は、干渉しないように十分確認してください。

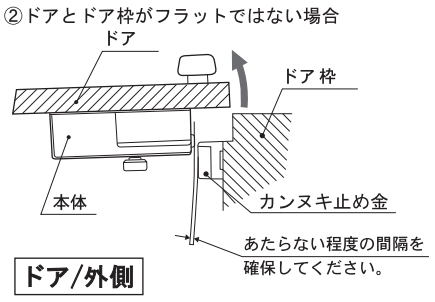
4. **上項を確認のうえ、取付手順を追ってください。**

ドア/上面

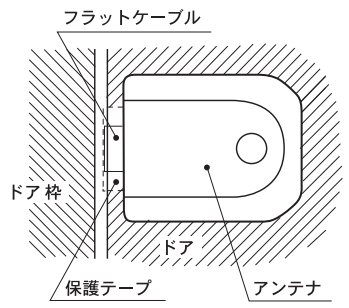
①ドアとドア枠がフラットの場合



②ドアとドア枠がフラットではない場合



ドア/外側

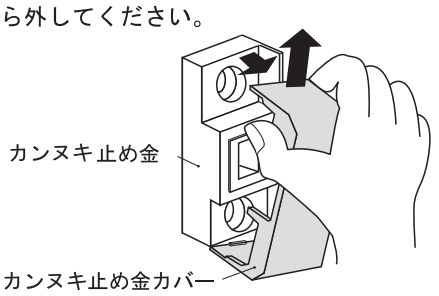


2 カンヌキ止め金の取付

1. ドア枠にカンヌキを受けるスペースがない場合は【カンヌキ止め金】を使用します。
カンヌキが【カンヌキ止め金】のどの位置に収まるかを確認します。

●付属の両面テープ又は木ネジで取り付けます。

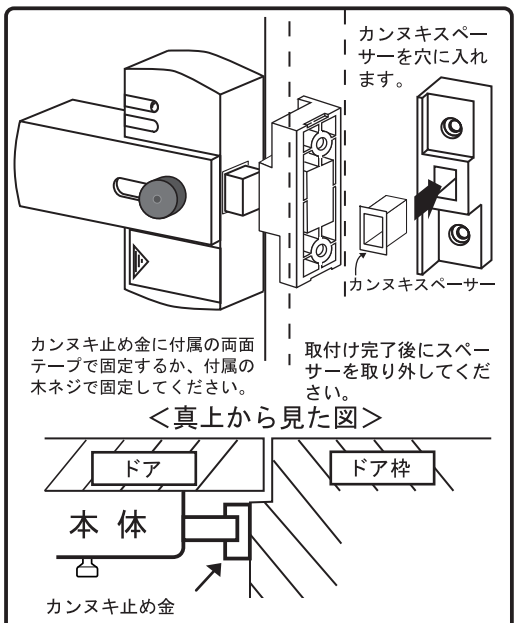
カンヌキ止め金カバーを図のように上に広げてから外してください。



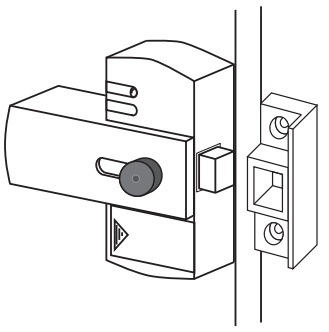
2. カンヌキ止め金の使用方法

本体とカンヌキ止め金の位置を仮に決めておきましょう。

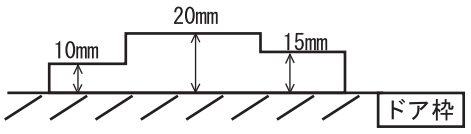
両面テープをカンヌキ止め金に貼ってから位置決めを行なってください。 詳しくはビデオテープをご覧ください。



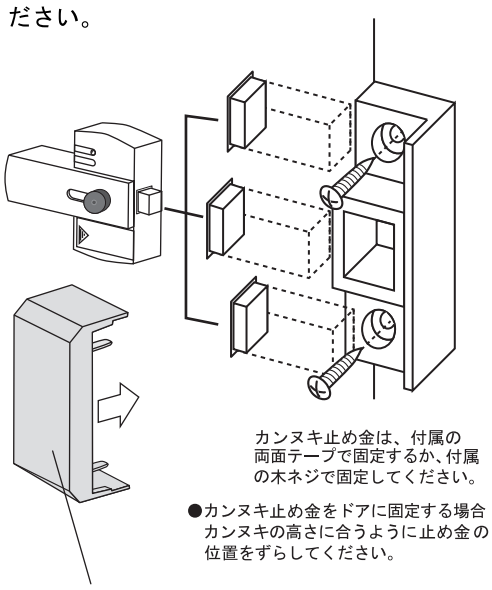
ドアとドア枠がフラットの場合



<カンヌキ止め金の位置>



本体とカンヌキ止め金の高さを見て、カンヌキ止め金のどの場所を使用するか確認してください。

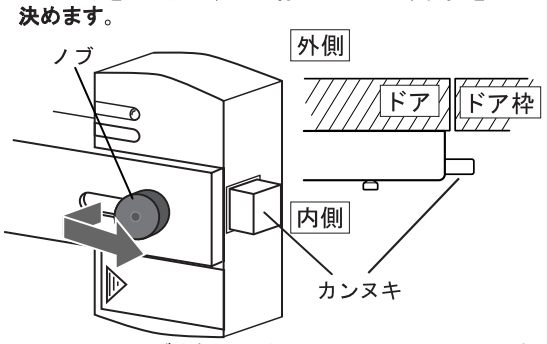


●カンヌキ止め金をドアに固定する場合カンヌキの高さに合うように止め金の位置をずらしてください。

最後にカンヌキ止め金カバーを取付けてください。

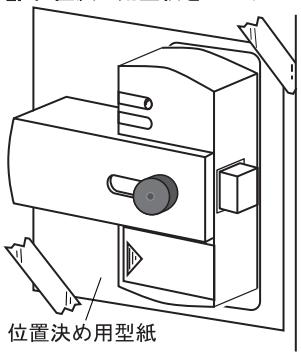
3 本体の取り付け

1. **カンヌキを引き出し、ドア枠にかかるよう位置を決めます。**



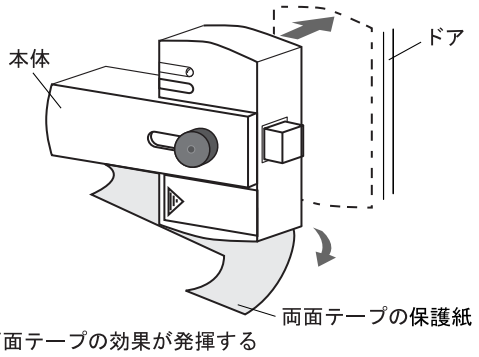
※ノブを軽く手前に引いて、手で動かします

2. **位置決め用型紙をセロテープなどを使いドアに仮止めします。**



※両面テープの接着性を発揮させるために、接着面を良く拭いてください。

3. **本体の両面テープの保護紙をはがし、ドアに強く押しつけしっかり固定します。その後、位置決め用型紙を取り除きます。**



※両面テープの効果が発揮するには約4日かかります。

4 アンテナの取付

ドアの構造によりいくつもの取付方法があります。最適な方法をお選びください

ドアにヘリカバーがない場合

アンテナを直接取り付けます。
(アンテナ取付ベースは使用しません)

アンテナ取付位置を決めてください。

ドアにヘリカバーがある場合

アンテナ取付ベースを使用します。

図の様にアンテナをアンテナ取付ベースに通してから回転させて収めます。この時フラットケーブルがアンテナ取付ベースの穴に収まっているのを確認してください。

ドアを開閉してみてフラットケーブルがドアの隙間におさまり、強く擦れたり、挟まったりしていない事を確認します。
加えて、フラットケーブルが外から見えないように、アンテナ先端の位置を決めます。

ドアにヘリカバーがない場合

ドアにヘリカバーがある場合

1. フラットケーブルの裏側は両面テープになっていますので 保護紙をはがして（はがす時の注意参照）、ドアに貼ってください。この時、アンテナ側から位置を確定していってください。

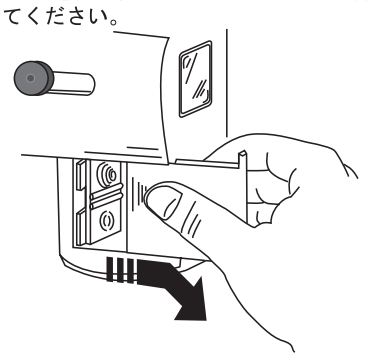
※はがす時の注意
保護紙をはがすときは必要な分だけ切ってはがしてください。保護紙を全部はがしてしまうと本体に押し込めなくなってしまう場合があります。

2. フラットケーブルが余った場合は、本体内に押し込んでください。

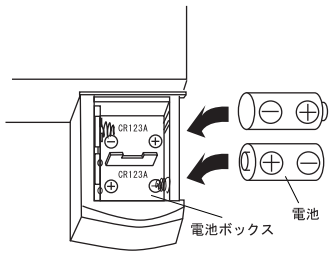
3. 最後に保護シールを貼ってフラットケーブルを保護します。

5 電池の取付

1. 電池カバーを指で少しスライドさせて上に持ち上げて開けてください。



2. 電池を所定の位置にセットします。電池は、図のように電池ボックスに横方向からスライドさせながら入れてください。



⚠ 電池のプラスとマイナスを間違えないようにしてください。

電池は主にカメラで使用されているものを使っています。
電池のお買い求めは、お近くのカメラ店、またはコンビニ等で「CR123A のリチウム電池」とご指定の上、お買い求めください。

※電池を捨てるときは、⊕⊖端子にテープなどを貼って、絶縁してください。

3. 電池カバーをもとの位置までスライドさせて閉めます。必ず電池カバーを閉めてお使いください。

4. 電池の取換時期がくると、本体のランプが点滅して交換時期を知らせます。電池の取り換えは必ず2本同時に新品と交換してください。電池がなくなるときには開錠してしまいます。必ずランプが点滅しはじめると電池を交換してください。

DELCATEC

取扱説明書

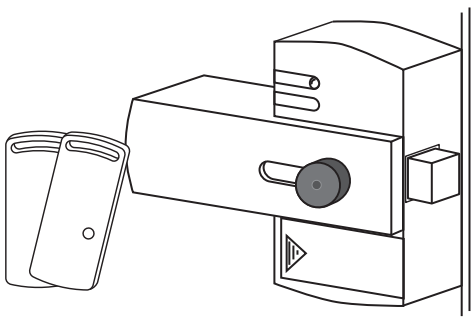
DXアンテナの製品を正しくご使用いただくために、取扱説明書をよくお読みください。

IC CARD
DOOR LOCK SYSTEM

KDW-1000

DELCAlock

操作方法



⚠注意

1 本体には、同梱の IC カードキー2 枚についてのみ、既に登録を完了してあります。
2 同梱のリチウム電池を本体の電池ケースに装着後10秒～20秒で、動作状態になります。

故障･修理などのお問い合わせ先

IBR ジャパンベストレスキューシステム株式会社
フリーダイヤル　0120-024-063

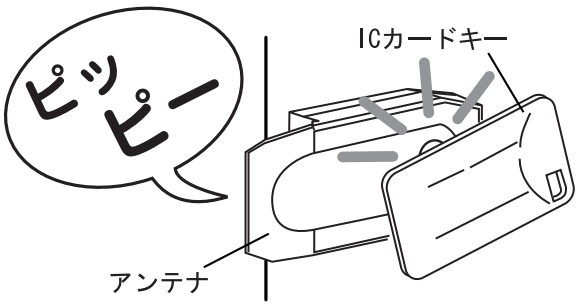
商品についてのお問い合わせ先

DXアンテナ株式会社
カスタマーセンター
TEL.（078）682－0455㈹
受付時間　9:30～12:00/13:00～17:00
（土曜･日曜･祝日および夏期休暇･年末年始は除く）

取付方法・操作方法（ＩＣカードキーの追加登録と登録抹消）については付属のビデオテープもあわせてご覧ください。

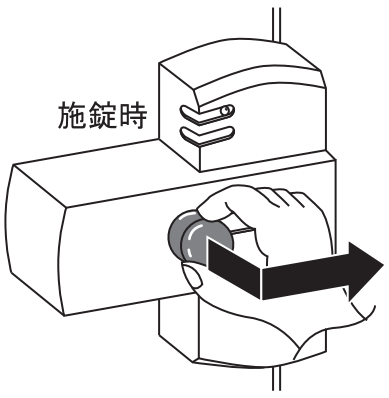
施錠方法（外出時）

外出時	外出の際は、ICカードキーでアンテナに軽く触れます。“ピッ・ピー”と音がして施錠します。



⚠注意　施錠動作が不完全な場合はアラームが鳴りますので再操作してください。

室内側	ノブを軽く手前に引いて、手動で施錠します。（音はしません）



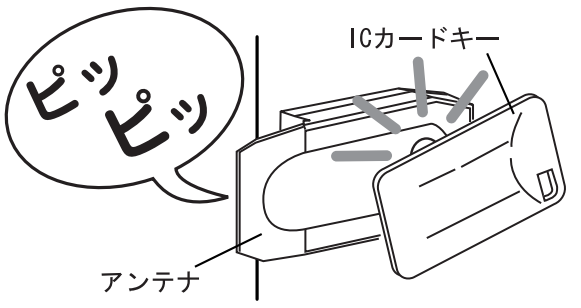
⚠注意　手動で操作する場合はノブを手前に引きますと軽く動きます。無理に動かしますと、故障の原因になります。

ノブの足元が、施錠状態では［赤］、開錠状態では［青］になります。

開錠状態　青　→　赤　施錠状態

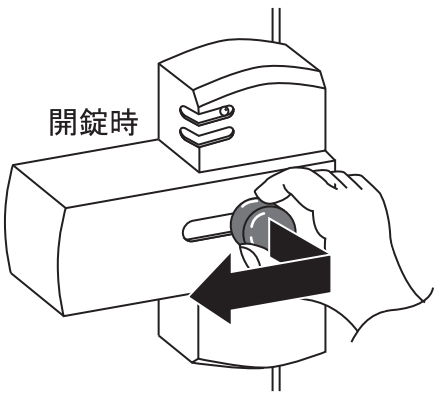
開錠方法（帰宅時）

帰宅時	外出から戻ったときは、ICカードキーでアンテナに軽く触れます。“ピッ・ピッ”と音がして開錠します。



⚠注意　開錠動作が不完全な場合はアラームが鳴りますので再操作してください。

室内側	ノブを軽く手前に引いて、手動で開錠します。（音はしません）



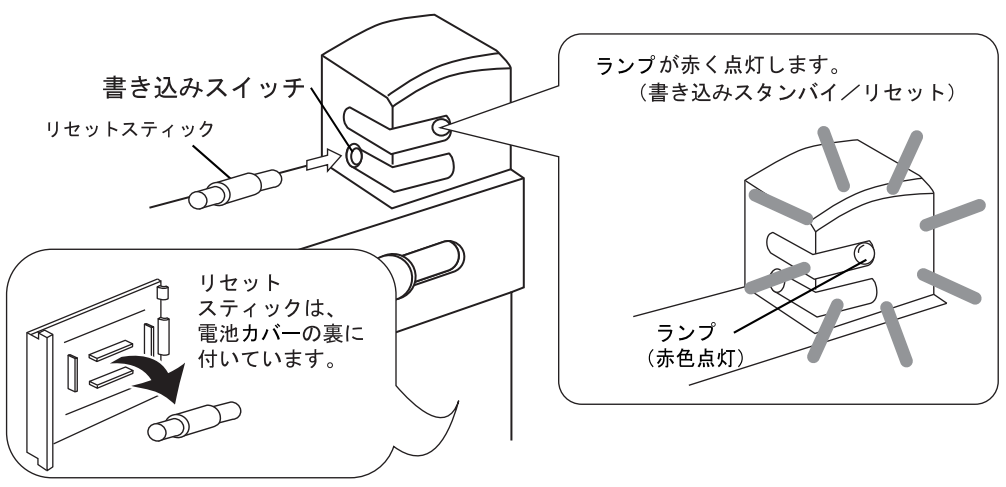
⚠注意　手動で操作する場合はノブを手前に引きますと軽く動きます。無理に動かしますと、故障の原因になります。

ノブの足元が、施錠状態では［赤］、開錠状態では［青］になります。

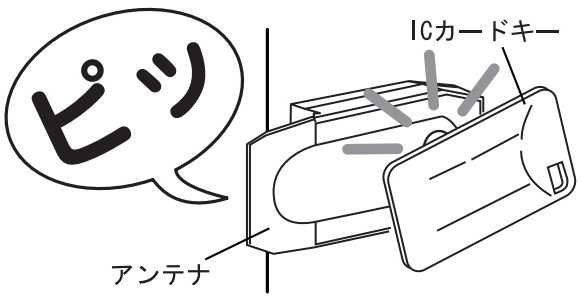
施錠状態　赤　→　青　開錠状態

ICカードキーの追加登録

1	リセットスティックを使用し、書き込みスイッチを押して（約１秒）本体のランプを点灯状態にします。



2	登録するICカードキーをアンテナに軽く触れます。“ピッ”と音がして登録されます。



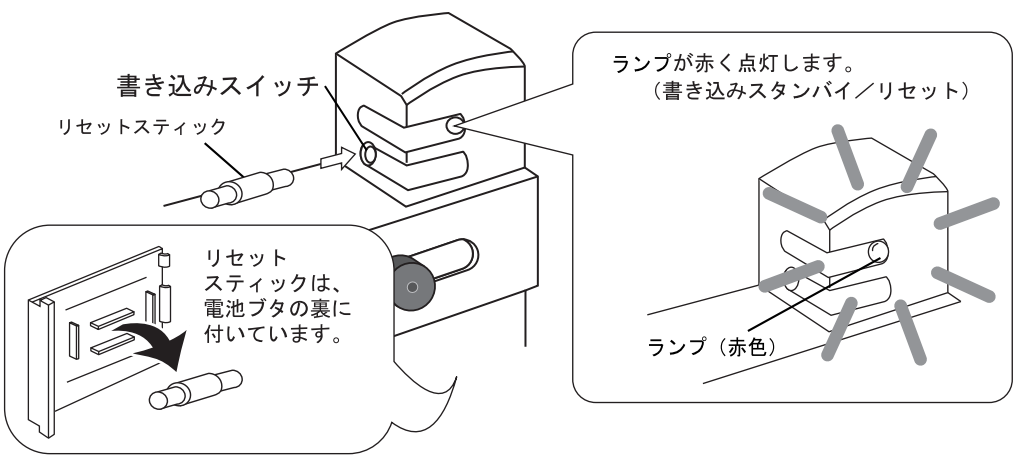
※ICカードキーの登録数は、
最大１０枚です。

3	2枚目以降のICカードキーを登録する場合は、1枚目が登録終了した状態で2枚目のICカードキーを上記2と同様に登録します。ICカードキーの登録を終了するときは、書き込みスイッチを短く（約1秒）押してください。　本体のランプが消灯すると登録終了です。

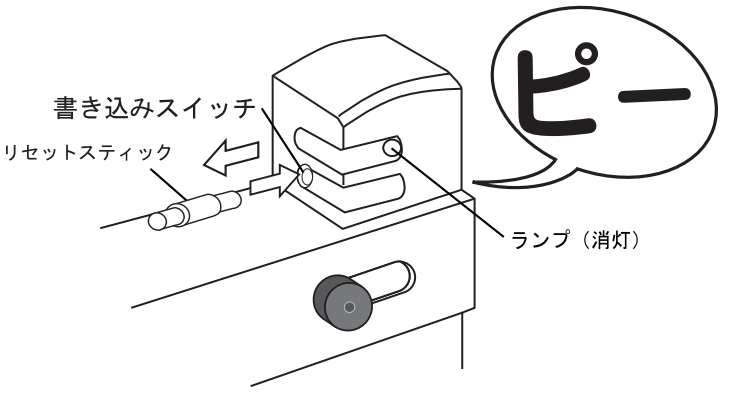
ICカードキーの登録抹消

ICカードキーを紛失したり、使用者が交代した場合などは、ICカードキーを登録抹消してください。

1	リセットスティックを使用し、書き込みスイッチを押して（約１秒）ランプ（赤色）を点灯状態にします。



2	一度、スイッチをはなし、再度書き込みスイッチを5秒間押すと“ピ－”と音がしてランプ（赤色）が消灯します。これですべてのICカードキーは登録抹消されました。



3	登録抹消後、使用するICカードキーをすべて再登録します。登録方法は「ICカードキーの追加登録」を参照してください。